

## 建設部の方針書

部名	建設部
部長名	池田智

### 1. 部の使命(ありたい姿)

「安全・安心で快適な住みよいまちづくり」	
☆暮らしを支える社会基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます ☆社会や自然環境の変動にも柔軟に対応し住み続けることができる、優しくしなやかなまちづくりを進めます。	
担当政策	政策5:暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
担当施策	5-1:雪国の快適な暮らしの実現 5-2:快適な移動空間の実現 5-4:地域拠点整備による市街地の活性化 5-6:市民がくつろげる公共空間の整備

### 2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老朽化する既存インフラ施設への計画的な取り組み</li> <li>○ 人口減少・高齢化社会における持続可能なまちづくりに向けた取り組み</li> <li>○ 地震や大雪、大雨などの自然災害にも簡単にはくじけない、しなやかなまちづくりに向けた取り組み</li> <li>○ 住み続けたい住まいと暮らしづくりに向けた取り組み</li> </ul>
--

### 3. 今年度の『スローガン』

『前へ！もう一步前へ！そしてその先の未来へ！』 ～住み続けることができる、優しくしなやかなまちづくりを目指して～
---

### 4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理</li> <li>(2) 将来を見据えたまちづくり(都市計画)方針に基づいた事業化とコンパクト化の促進</li> <li>(3) 住生活対策の促進</li> </ul>
---

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理
	取組内容	◇道路・橋りょう施設等の適切な維持管理と長寿命化の推進 ◇幹線道路等における改良、計画的な舗装補修等の推進 ◇生活に密着したインフラの補修、修繕の加速化 ◇雨水排水対策事業による適切な雨水排水対策の実施 ◇横手市総合雪対策基本計画(第2期)に基づく取組の推進
(2)	実現したい成果	将来を見据えたまちづくり(都市計画)方針に基づいた事業化とコンパクト化の促進
	取組内容	◇将来都市構造を見据えた土地利用等に関する制限内容の見直し ◇持続可能でしなやかなまちづくりのための都市基盤整備の推進 ◇活力とうるおいのあるまちなみ形成の推進 ◇再開発準備組合との連携と部局横断による事業支援
(3)	実現したい成果	住生活対策の促進
	取組内容	◇安全安心で快適な住環境対策の促進 ◇市有建築物の適切な維持管理・営繕工事等の実施 ◇住生活基本計画に基づいた住宅確保要配慮者への入居支援

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理  
橋梁長寿命化、道路改良、舗装補修など計画的に発注又は作業中であり、順調に進捗。
- (2) 将来を見据えたまちづくり(都市計画)方針に基づいた事業化とコンパクト化の促進  
駅周辺の用途変更などを都市計画審議会へ諮問し、都市計画決定に向け作業中。  
駅東口第2地区の再開発事業も組合設立に向け、順調に進捗。
- (3) 住生活対策の促進  
雪国よこて安全安心住宅普及促進事業、耐震診断・改修事業ともに順調に進捗。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理  
引き続き、適切な監督業務を行っていくとともに、除雪管理システム導入に向けた準備を進める。
- (2) 将来を見据えたまちづくり(都市計画)方針に基づいた事業化とコンパクト化の促進  
11月の都市計画決定を目指すとともに、再開発事業の基本設計、資金計画案等の策定を進める。
- (3) 住生活対策の促進  
各事業の市民への周知と、フォローアップに努め、また、住宅セーフティネット構築に向けた研修会を開催する。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理  
橋梁長寿命化計画については年度をまたぐこととなったが、次年度早期の完成を目指す。  
道路改良・舗装・インフラ補修等については、概ね、計画的な発注と、出来形・品質の確保が図られた。  
雨水排水対策については、詳細設計が完了し、次年度、対策工事に着手する。  
総合雪対策基本計画は最終年度となるため、次年度中に次期計画を策定する。
- (2) 将来を見据えたまちづくり(都市計画)方針に基づいた事業化とコンパクト化の促進  
駅西口用途変更等については、都計決定等の手続き完了、次年度は平病周辺の用途指定を目指す。  
横手北SICは無事開通、清算事務終了。三枚橋区画整理は街路工事等完了、次年度住居表示を実施する。  
駅東口第2地区再開発は準備組合から本組合へと移行予定。都市再生整備計画の策定と合わせ、連携する。
- (3) 住生活対策の促進  
雪国よこて事業については102件、木造耐震は診断5件改築2件の実績、次年度以降も改良しつつ継続する。  
市営住宅改修、依頼工事等は計画通り進捗。防災拠点耐震化は次年度1か所予定。今後も協議を継続する。  
住宅セーフティネットの構築に向け、協議会研修会を3回開催。物件紹介は6件。次年度以降も継続して取り組む。